

【専門分野】

科目名	老年看護援助論Ⅰ（対象の理解）	講師名	専任教員	学年	2	履修期	第1学期
単位	1単位						
時間数	30時間						
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	高齢者が健康な生活を意識した行動がとれるように、また、障害や疾病をもちながら体力低下を防ぎ、健康を維持するための日常生活への援助を学ぶ。						
授業科目目標	1. 加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化が及ぼす健康課題を学び、高齢者の健康生活を支える援助を理解できる。 2. 老年期の特徴を踏まえた看護の展開が習得できる。						
授業計画	1回：高齢者の健康 1) 老年期における健康の考え方 2) 高齢者の自立・介護予防への援助 3) 高齢者の心の健康を高めるための援助 2回：高齢者疑似体験 高齢者の生活リズムの回復に向けた日常生活の援助 3回：活動・休息への援助 1) 基本動作、活動、アクティビティケア 2) 休息、快適な睡眠（不眠時の援助） 4回：食生活を豊かにするための食事への援助 1) 高齢者の特徴と摂食・嚥下障害 2) 高齢者の特徴と低栄養（フレイル・サルコペニア） 5回：排泄への援助 1) 高齢者に特徴的な排尿障害と援助 2) 高齢者に特徴的な排便障害と援助 6回：脱水予防のための援助 7回：清潔・衣生活への援助 1) 安全・自立を支える援助 8回：視覚・聴覚機能低下（老人性難聴）への援助 9～15回：大腿骨頸部骨折患者の看護（看護過程の展開） 1) 再発予防のための生活習慣の改善に向けた援助 2) ADLの程度に応じた自己管理に向けての患者指導 3) 高齢者の自尊心に配慮した援助 15回：終了試験					講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 事前課題 グループワーク	
評価方法	筆記試験（60%）、課題レポート（40%）						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 老年看護学, 医学書院. 2. 泉キヨ子・天津栄子：根拠がわかる老年看護技術, メヂカルフレンド社.						
参考書	1. 奥野茂代他：老年看護学 ー概論と看護の実践ー, ヌーヴェルヒロカワ. 2. 水谷信子監修：最新老年看護学, 第3版 2017年版, 日本看護協会出版会. 3. ナーシング・グラフィカ 高齢者看護の実践, メディカ出版. 4. ナーシング・グラフィカ 高齢者の健康と障害, メディカ出版.						
学生へのメッセージ	高齢者の身体内部で生じている状態をよく理解したうえで、高齢者のケアをしていくための視点をもって予測し、予防的ケアを行うことで、高齢者のQOLの向上を目指すトータルケアができるようになることをねらいとしています。 【関連科目】 病理学Ⅲ、共通基本技術Ⅳ、生活援助技術Ⅰ～Ⅲ、老年看護学概論						